中国贸促会专利商标事务所
CCPIT PATENT & TRADEMARK LAW OFFICE

中国知的財産権

ニュースレター



第5号
2023年第5号（全99号）
2023年5月31日

目　次
CONTENTS

知財ニュース

上海知的財産権裁判所　2015年から2022年までにイノベーション成果帰属紛争489件を受理 …… 3

北京の裁判所の知的財産権司法保護状況（2022年） …… 4

国家知識産権局が2022年の中国知的財産権発展状況を紹介 …… 7

最高裁判所　2022年中国の裁判所が知的財産権案件52万件超を新規に受理 …… 10

国家知識産権局　知的財産権法律・法規及び制度・規則の制定と改正を推進 …… 11

AI・IoT関連情報

デジタルツイン工場の中国スマート製造 …… 12

中国電信（チャイナ・テレコム）：デジタルとリアルの融合が様々な業界のデジタル変革をエンパワー …… 13

科大訊飛（アイフライテック、iFLYTEK）が　iFLYTEK SparkDesk認知基盤モデルをリリース …… 15

上海知的財産権裁判所 2015年から2022年までにイノベーション成果帰属紛争489件を受理

http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/sfjg/rmfy/dffy/202304/1977894.html

上海知的財産権裁判所が4月19日に記者会見を開き、2015年から2022年までのイノベーション成果帰属紛争案件裁判の状況に関する白書を発表した。

紹介によると、2015年から2022年までに上海知的財産権裁判所が受理したイノベーション成果帰属紛争にかかわる民事一審案件は489件で、同時期に受理した知的財産権民事一審案件全体の3.75%を占め、434件の裁判が終了しており、案件数は全体的に緩やかに増加している。

白書によると、イノベーション成果帰属紛争案件は主に以下の特徴を有している。

第一に、当事者別では、イノベーション主体は主に会社である。受理した案件のうち、99.18%の案件は当事者の一方又は両方が会社で、わずか4件のみが当事者双方とも自然人であった。

第二に、紛争の種類別では、主に特許案件である。内訳は、専利権帰属紛争案件が309件、専利出願権帰属紛争案件が145件、コンピューターソフトウェア著作権帰属紛争案件が35件であった。

第三に、争点別では、主に職務成果又は非職務成果のどちらにあたるかの紛争である。従業員が会社のイノベーション成果を無断で占有したことに起因した紛争が128件で、会社は関連技術案が職務発明であると主張して裁判所に判決を求めた。その他、研究開発協力の過程における違約行為が原因の紛争、又は技術案の盗用、剽窃が原因の紛争もある。

第四に、結果別では、勝訴率は原告の方が比較的高かった。判決や調停を介して終了した案件のうち、イノベーション成果が原告に帰属すると判断された案件は全体の67.62%を占めた。

北京の裁判所の知的財産権司法保護状況（2022年）

http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/sfjg/rmfy/dffy/202304/1977899.html

北京市高等裁判所の裁判長·寇昉は2023年4月20日に最高裁判所の記者会見で北京の裁判所の知的財産権司法保護状況（2022年）について次のように紹介した。

一、法に基づいて各種の知的財産権紛争案件を適切に審理し、北京のイノベーション、発展に的確で強力な司法サービスを提供した。2022年に北京の裁判所は各種の知的財産権案件74506件の裁判を終了した。過去5年間で案件数は平均7.43%増加した。北京の裁判所の知的財産権案件は多種多様で、新しいタイプの案件が多く、件数は全国の裁判所の中で上位にある。北京の裁判所はコア技術、重点分野、新興産業に対する知的財産権保護を強化し、年間2656件の専利紛争案件の裁判を終了し、分野は次世代情報通信技術、バイオテクノロジー、新エネルギー、新材料などの新興産業をカバーし、中国初の医薬品のパテントリンケージなど、国内外から大いに注目を集める数多くの裁判を法に基づき終了した。インターネットライブ配信、ショートムービー、人工知能などデジタルエコノミー分野の案件を法に基づいて審理し、イノベーションと権利侵害の境界線を的確に把握し、発展と規範のバランスを法に基づいて適切に維持し、経済·技術開発の新分野の行動規範と競争規則を適時に定めた。「住宅情報データ」や「自動車消費者の苦情申立」に係る案件の審理によって、プラットフォーム上の経営者が収集、整理したデータセットが保護対象になるという司法の考え方を確立した。クリエイティブ産業関連の著作権紛争案件36960件の裁判を終了し、バリアフリーの映画の合理的な使用条項に係る著作権紛争案件などの典型的案件を法に基づいて審理し、文化の発展の規範、促進において著作権の司法保護の役割を果たした。中国初の北京冬季オリンピック·パラリンピック競技大会マスコットの肖像権侵害刑事案件の裁判を終了した。市場秩序の規範化、公平な競争の促進、ビジネス環境の改善における知的財産権裁判の重要な役割を

果たし、商標や不正競争、独占にかかわる案件27543件の裁判を終了し、法に基づいて商標権侵害、他人の商品へのクチコミの不正利用、悪意の先取り登録などの行為を抑止した。「古北水鎮」商標の悪意の出願、サーチエンジン以外のシーンにおける“ロボット協定”に係る不正競争紛争などの案件を適切に審理し、公平で秩序のある市場を効果的に保護した。

二、知的財産権に対する司法保護を引き続き強化し、知的財産権司法保護の難題を解決した。保護の更なる強化と権利侵害による賠償の更なる引き上げを図り、『北京市高等裁判所の知的財産権民事案件審理における懲罰的賠償の適用に関するガイドライン』と典型的判例を発表し、知的財産権侵害が故意的で、且つ情状が深刻な場合の懲罰的賠償制度の適用を強化し、権利侵害者に重い代償を払わせるとした。法に基づいて賠償額を引き上げたことで、全市の裁判所の技術系案件の平均賠償額は2018年の52万元から286万元に増加した。知的財産権侵害の犯罪行為を厳格に処罰し、知的財産権刑事案件196件の裁判を終了し、知的財産権侵害を処罰し抑止する刑罰の機能を効果的に発揮した。権利者の権利保護コストをさらに削減するため、全市の裁判所は知的財産権の裁判において「多様な紛争解決＋迅速な裁判」メカニズムを踏み込んで推進し、知的財産権行政管理部門、業界団体、調停専門組織との協力を強化し、紛争解決方法を革新し、訴訟前に各種の知的財産権紛争56803件の調停を行った。商標の迅速な審査作業メカニズムを引き続き改良し、商標の拒絶査定不服審判の行政二審案件の平均審理期間を35日に短縮した。北京知的財産権裁判所は迅速裁判モデルを構築し、迅速裁判の案件の平均審理期間を23日に短縮した。当事者の挙証難問題をさらに解決するため、証拠制度を適切に活用し、法に基づいて挙証責任を合理的に明確にし、複数の案件において挙証妨害規則を適用して権利者の賠償請求の全額又は高額を認定し、偽証の提出、虚偽の陳述、証拠の毀損などの行為に対して法に基づいて制裁を加えた。

三、知的財産権分野の改革・革新を引き続き強化し、北京の裁判所知的財産権裁判システムを完備化する。北京知的財産権裁判所、北京インターネット裁判所の構築を強化し、知的財産裁判関連の人材集積地を築く。北京知的財産権裁判所は設立以降、各種案件139116件の裁判を終了し、中国知的財産権裁判の専門的な道を模索するために先駆け的な役割を果たしてきた。北京インターネット裁判所が設立されてからインターネットにおける知的財産権案件122941件の裁判を終了した。知的財産権裁判の情報化、インテリジェント化を全面的に向上させ、北京インターネット裁判所はブロックチェーン技術を活用して「天平链（バランスチェーン）」電子証拠プラットフォームを構築し、著作権など9カテゴリで25のアプリケーションノードのデータドッキングを完成し、チェーンに電子データの証拠2億本を保管し、作品の権利侵害証拠の取得と訴訟での真偽検証を一括完成した。北京の裁判所の知的財産権司法保護体系の完備化を進めており、現在全市の裁判所は重要なエリアに六つの巡回裁判法廷を設置し、三つの国家重点ラボに裁判官ステーションを設立して、北京イノベーションの主要プラットフォームのいずれでも巡回裁判ができるようにしている。



国家知識産権局が2022年の中国知的財産権発展状況を紹介

http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/zfbm/zy/bw/202304/1977960.html

中国国務院新聞弁公室が4月24日に記者会見を開催し、中国国家知識産権局の申長雨局長が2022年の中国知的財産権発展状況を次のように紹介した。

一、知的財産権のイノベーションの質が徐々に向上している。2022年は特許出願79万8000件が権利付与され、一万人あたりの高価値特許保有数が9.4件に達した。中国出願人の『特許協力条約』(PCT)に基づく国際特許出願は7万件、『意匠の国際登録に関するハーグ協定』に基づく国際意匠登録出願は2558件であった。617万7000件の商標の登録が認められ、国内出願人によるマドリッド協定議定書に基づく国際商標登録出願は5827件であった。地理的表示保護製品5件が新たに認定され、団体商標や証明商標として登録する地理的表示514件が認可された。作品、コンピューターソフトウェアの著作権登録数はそれぞれ451万7000件、183万5000件に達した。植物新品種4026件が権利付与された。集積回路設計9106件に証書が交付された。中国は世界知的所有権機関が発表した『2022年世界イノベーション指数報告書』のランキングに第11位に躍進した。

二、知的財産権保護が引き続き強化されている。改正後の独占禁止法、科学技術進歩法、種子法が正式に施行された。データの知的財産権保護規則の研究と試行が整然と推進されている。北京冬季オリンピック・パラリンピックの知的財産権保護任務が成功裏に完了した。初の国家知的財産権保護モデル地域が選定された。特許出願の審査期間が16.5ヶ月に短縮され、商標登録の平均審査期間は4ヶ月で安定している。10の国家知的財産権保護センターと迅速な権利保護センターが新規に設立された。専利・商標などの分野の違法行為4万4000件の取り締まりが行われた。専利権侵害紛争に係る行政裁決5万8000件、権利保護支援申請7万1000件が処理され、紛争調停申立8万8000件が受理された。権利侵害・海賊版に

係る案件3378件が処理され、84万6000の権利侵害・海賊版リンクが削除され、3029の大型ウェブサイトの著作権問題が重点的に監督管理された。権利侵害の疑いのある輸出入貨物6万1000ロットが押収され、新規の知的財産権税関保護届出2万1000件が審査された。54万3000件の各種知的財産権案件の裁判が終了した。1万3000人が知的財産権侵害罪で提訴され、知的財産権民事訴訟監督案件937件が処理された。知的財産権侵害と偽物・粗悪品の製造販売案件2万7000件が解決した。知的財産権保護に対する社会満足度が81.75点に上がった。

三、知的財産権を活用するメリットがさらに顕著になった。2021年に専利集約型産業の付加価値は同期比17.9%増の14兆3000億元に達し、GDPにおける割合は12.44%となり、著作権産業の付加価値は同期比12.9%増の8兆4800億元に達し、GDPにおける割合は7.41%となった。2022年の専利・商標による質権融資総額は同期比57.1%増の4868兆8000億元であり、著作権による質権保証額は同期比25.9%増の54兆5000億元であった。知的財産権使用料の輸出入総額は同期比2.4%増の3872兆5000億元で、うち輸出額は同期比17%増加した。知的財産権に係る技術契約24万1000件を結び、取引額は1兆8000億元であった。33の知的財産権資産証券を発行し、規模は62億元であった。地理的表示専用標識を使用できる市場主体は2万3000社以上で、生産額が7000億元を上回った。

四、知的財産権関連サービスの能力が向上し続けている。専利・商標の電子出願率は99%を上回り、証書の電子化が実現された。中国版権保護センターは作品著作権登録のオンライン化を実現した。全国の著作権による質権登記情報検索の一元化が実現された。知的財産権サービス業に対する監督管理が引き続き強化され、産業秩序が絶えず改善している。

五、知的財産権関連の国際協力と競争がさらに展開されている。『意匠の国際登録に関するハーグ協定』に加盟し、『盲人、視覚障害者その他の印刷物の判読に障害のある者が発行された著作物を利用する機会を促進するためのマラケシュ条約』が批准されて中国で発効、正式に施行された。中国代表が植物新品種保護国際同盟の理事会主席に当選した。『地域的な包括的経済連携協定』（RCEP）にある知的財産権関連任務をハイレベルで遂行した。世界知的所有権機関と共同で知的財産権金融報告書、著作権保護の優秀事例調査報告書を編集した。中欧地理的表示製品の相互承認・保護リスト（第2回）を公表し、その製品は350に及んだ。国家安全保障にかかわる知的財産権の対外譲渡管理を強化し、海外知的財産権紛争対応の指導を着実に遂行し、知的財産権分野の国家安全と海外における中国企業の知的財産権に関する合法的な権利を適切に保護している。



最高裁判所　2022年中国の裁判所が知的財産権案件52万件超を新規に受理

http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/sfjg/rmfy/zgrmfy/202304/1977881.html

2022年に中国の裁判所は一審、二審、再審申立及び再審など各種の知的財産権案件52万件超を新規に受理した。案件は主に以下の特徴を有している。第一、技術系案件が増加し続け、中国中西部など地域は知的財産権保護需要が高く、高品質な発展をサポートする知的財産権司法保護の作用がより一層示された。第二、インターネット裁判メカニズムが革新されつつあり、スマート裁判所の建設がさらに推進され、司法の利便化メカニズムが引き続き健全化している。第三、紛争が実質的に解決され、権益が全面的に保障された。第四、下部への裁判権限移譲が秩序よく進み、裁判所の管轄範囲と業務分担がさらに改善され、知的財産権案件の裁判は質と効率のいずれも向上している。

国家知識産権局　知的財産権法律・法規及び制度・規則の制定と改正を推進

http://www.nipso.cn/onewsn.asp?id=54380

中国国家知識産権局の申長雨局長が4月24日の記者会見で、知的財産権司法保護を強化し、全面的なイノベーションをサポートする制度の基盤強化を加速するため、同局は各種の知的財産権法律・法規及び制度・規則の制定と改正を全体的に考慮して推進すると紹介した。

専利法については、専利法実施細則の改正を加速させ、特許ライセンス、実用新案の顕著な進歩性審査、意匠の顕著な区別審査など改正内容の実施を促進し、実用新案制度の改革を積極的に推進し、ハーグ協定加盟後の審査管理を着実に遂行し、世界の意匠体系に完全に統合していく。

商標法については、商標法改正の議論を加速させ、商標分野における悪意の先取り登録、買い溜め式出願などの根深い矛盾や問題の解決に力を入れる。

地理的表示については、地理的表示法の制定を加速させ、地理的表示保護モデルと商標保護モデルの調和を維持し、統一された地理的表示認定・実施案を制定し、地理的表示申請の出入口の一元化を実現し、特色のある産業の発展、農村部の振興、文化財の継承などの促進において地理的表示の力を発揮させる。

その他、国家知識産権局はビッグデータ、人工知能、遺伝子技術などの新分野、新業界の知的財産権規則の研究に力を入れ、関係分野のイノベーションと発展をサポートする。また、国際的な知的財産権規則の制定に積極的に参与し、高水準の国際経済・貿易規則との統合を図る。

デジタルツイン工場の中国スマート製造

http://zj.news.cn/2023-04/24/c_1129555305.htm

わずか数年の間に、デジタルツインは技術の概念から新たなモデル転換の手段になった。ますます多くの工場にデジタル新技術が導入されるようになっている。

杭州西奥エレベーター有限公司の展示ホールに入ると、50本以上のデジタル化生産ラインが遠隔操作によって切り替えられ、製造モジュールの稼働状況をリアルタイムで確認でき、全プロセスとその品質の追跡をも実現している。

「当社が設計した工場全体はデジタルインフラを基礎としており、取引先からの注文、工場での設計、生産、物流、アフターサービスの全ライフサイクルのデジタル化を実現している。」西奥エレベーター工場の馮鉄英運営副総裁の紹介によると、5GやAIなどの新世代先端技術と結びつけることで、この「デジタルツイン工場」は製造効率と製品品質のダブル向上を実現し、年間受注件数10万台超を実現している。

デジタル化のエンパワーメントはこれだけではない。カスタマイズ機能を備えたデジタル化生産ラインは、2分でエレベーター1台を生産できる。「かつて生産ラインには20人が必要だったが、今は1人のオペレーターで済み、しかも多くが頭脳労働に従事しており、工場のコスト削減と効率化を実現する一方で、一般労働者に技術者へ成長することを促す」と馮鉄英氏が紹介した。

西奥の「エンジニアリング・ブレーン」では、責任者が全国のエレベーターの使用状況をリアルタイムで確認でき、エレベーターのライフサイクルの維持管理を実現している。例えば、エレベーターが故障した場合、バックグラウンドで故障の場所と原因を捉え、その情報を近くにいるメンテナンス担当者に転送し、いち早く現場に駆けつけて修理できるようにしている。

「未来工場」の建設は、浙江省のデジタル化改革・デジタル経済システム建設の主要任務の一つである。統計によると、2023年2月時点で、浙江省の52の「未来工場」では、企業の平均生産効率が54%向上し、コストを19%削減した。

中国電信（チャイナ・テレコム）：デジタルとリアルの融合が様々な業界のデジタル変革をエンパワー

http://finance.people.com.cn/n1/2023/0429/c1004-32676328.html

4月26日から30日まで、「第六回デジタル中国建設サミット・クラウドエコロジー成果展示会」が福州海峡国際会展センター5号館で開催された。中国電信は華為技術（ファーウェイ）、中興通訊（ZTE）、インテルなど40余りのエコロジーパートナーと共に参加した。

新たなインフラ構築を加速し、デジタル建設の基盤を強化

今回の成果展示会で、中国電信は、天翼雲（e cloud）インテリジェントコンピューティングプラットフォーム「曇驍」、コンピューティングパワー分配ネットワークプラットフォーム、クラウド・ネットワークの融合、クラウド・エッジのコラボレーション、デバイス・クラウドの統合などの素晴らしい成果を展示した。天翼雲（e cloud）インテリジェントコンピューティングプラットフォーム「曇驍」は、天翼分散型アーキテクチャーのクラウド台座と大規模なコンピューティング、ストレージ、ネットワークリソースを頼りに、フルスタック国産化と千枚AI アクセラレータカード規模クラスタ機能を提供し、次世代GPUが提供する力強いコンピューティングパワーを基に、混合配置のスケジュールのリソース利用率を20%向上させ、千枚AI アクセラレータカード並列計算の効率を80%に到達させた。天翼雲4.0コンピューティングパワー分配ネットワークプラットフォーム「息壌」は、3.1EFLOPSの全国的なコンピューティングパワーの調達を実現した。星河AIプラットフォームは、中国電信の4段階のコンピューティングパワーを頼りに、31の省の端末とクラウドを統合させ、AI能力のワンクリック配信、迅速な展開、フルシーンでの適用を実現した。

5G+クラウドネットワークを深化させ、AIが各産業をサポート

特殊産業のクラウド構築において、天翼雲は工業インターネットと産業インターネットにおけるクラウドとネットワークの統合、5G、IoTの優位性を最大限に発揮し、産業の持続的発展をサポートして、これまで2,000社以上の企業での業務のクラウド化を実現させている。

また、今回の展示会で、中国電信は天翼雲法廷システムを展示し、「オフライン＋オンライン」のハイブリット方式開廷や遠隔開廷などの典型的なアプリケーションシーンを作り上げることで、訴訟参加者の法廷での裁判への参加の必要性や訴訟コストの節約問題を解決している。

技術イノベーションを強化し、強固なデジタルセキュリティバリアを構築

クラウド・ネットワーク融合の発展において、セキュリティは常に注目されるものだ。中国電信は、通信事業者のネットワークセキュリティの優位性に基づき、クラウド・ネットワーク融合のセキュリティ能力を強化し、「エンドツーエンドのプロセス及びネットワーク全体のスケジューリング、監視、処理、アクセスエッジに至るまでの複合セキュリティの配置、多次元全シーンのデータ・エンパワーメントと追跡」という3つの能力を絶えず強化し、様々なアクセスシーンをエンパワーメントすることで、中国電信のプライベート回線、IDC、クラウド、5G、家庭用ブロードバンドのセキュリティを確保し、何千もの産業が安心してクリアなサイバースペースを共有できるようにしている。

今回の展示会で、中国電信は「曇堤・抗D　」、「天翼曇レッドシールド2.0」、「墨子セキュリティーオペレーションプラットフォーム」などの次世代セキュリティ保護システム製品を展示した。そのうち「曇堤・抗D　」はすでに全国の多くの政府、医療・健康、教育、公共サービス部門にサイバー攻撃の監視やウェブサイト監視・緊急対応サービスを提供している。天翼曇レッドシールドは、ホスト、アプリケーション、ネットワークからデータまで、包括的なクラウドネイティブのセキュリティ保護システムを構築し、企業に天翼曇プラットフォーム側と同レベルのセキュリティ保護能力を提供している。墨子プラットフォームは、企業に7×24時間のセキュリティ事件監視・緊急処理を提供し、セキュリティ問題に対する100%のフィードバックを可能にしている。

科大訊飛（アイフライテック、iFLYTEK）がiFLYTEK SparkDesk認知基盤モデルをリリース

http://ah.people.com.cn/n2/2023/0506/c227131-40405409.html

5月6日午後、iFLYTEK SparkDesk認知基盤モデル成果発表会が安徽省・合肥市で開催された。科大訊飛の劉慶峰社長と研究院の劉聡院長がiFLYTEK SparkDesk認知基盤モデルを発表し、基盤モデルのコア能力についてテストを行った。

ChatGPTが2022年11月30日にリリースされて以来、認知基盤モデルの技術的ブレイクスルーが続き、AIが世界で広く注目されるようになった。劉慶峰氏は、ChatGPTが重要視する48の主要タスクの方向性と、訊飛のオープンプラットフォームにおける400万以上の開発者チームの需要分析によると、汎用人工知能は、テキスト生成、語義理解、知識質疑応答、論理的推論、数学的能力、コーディング能力、マルチモーダル能力といった7つの能力を持つ必要があると語った。発表会では、科大訊飛がiFLYTEK SparkDesk認知基盤モデルの7つのコア能力についてテストを行った。

「毎回の生成で異なる結果が出ることは、iFLYTEK SparkDesk認知基盤モデルの魅力である。」劉青峰は、長文生成において、iFLYTEK SparkDesk認知基盤モデルは中国で明らかな優位性があり、今後、科大訊飛は開発者と手を組み、基盤モデルの応用を促進し、AI「SparkDesk」エコロジーを構築していくと紹介した。

iFLYTEK SparkDesk認知基盤モデルは現在より多くの産業をエンパワーメントしている。今回の発表会では、SparkDesk認知基盤モデルの「1+N」アーキテクチャの「N」分野を中心に、科大訊飛は教育、オフィス、自動車、デジタルワーカーなど数多くの産業での基盤モデルの応用の成果を発表した。

ENRICHING YOUR IDEAS

北京本部
住 所：〒100031　中国北京市復興門内大街158号遠洋大厦10階
Tel　：+86-10-6641-2345
Fax　：+86-10-6641-5678/6641-3211
Email：mail@ccpit-patent.com.cn

上海オフィス
住 所：上海市静安区威海路567号　晶采世紀大厦18階
Tel　：+86-21-6288-8686　　Fax　：+86-21-6288-3622
Email：shanghai@ccpit-patent.com.cn

広州オフィス
住 所：広東省広州市天河区天河北路233号
　　中信広場11階1112ー1113室
Tel　：+86-20-3877-0278　　Fax　：+86-20-3877-0297
Email：guangzhou@ccpit-patent.com.cn

深センオフィス
住 所：深セン市福田区嘉里建設広場T3ビル13階
Tel　：+86-755-3304-6671
Email：shenzhen@ccpit-patent.com.cn

香港オフィス
住 所：香港湾仔港湾道一号会展広場ビル34号09室
Tel　：+852-2523-1833　　Fax　：+852-2523-1338
Email：hongkong@ccpit-patent.com.cn

東京オフィス
住 所：〒100-0004　日本東京都千代田区大手町二丁目2番1号
　　新大手町ビル2階265区
Tel　：+81-3-6262-6643　　Fax　：+81-3-6262-6645
Email：tokyo@ccpit-patent.com.cn

ニューヨークオフィス
住 所：One Penn Plaza Suite 4425 New York, NY 10119 U.S.A.
Tel　：+1-212-868-2066　　Fax　：+1-212-868-2068
Email：newyork@ccpit-patent.com.cn

シリコンバレーオフィス
住 所：3945 Freedom Circle, Suite 550, Santa Clara, CA 95054
Tel　：+1-408-855-8628　　Fax　：+1-408-855-8639
Email：siliconvalley@ccpit-patent.com.cn

マドリードオフィス
住 所：Calle del Principe de vergara 13, 5°D, 28001，Madrid, Spain
Tel　：+34-910-66-3553
Email：madrid@ccpit-patent.com.cn